



寮内夏まつり(3面に関連記事)

「夏まつり、盆踊り行く~」「たっしゃあ食べね~」毎日の暮らしで私の手をひいて話しかけてくれる利用者さん。4回には「一緒に行きましょ~」と答えていた私。5回には「あつたらいいですね」の6回には「あるかな~」。楽しみや期待感を言葉に込めお伝えすべしとも緊急事態宣言下では次第にその現実味は薄れていき、それでも日々、声をかけてくれる利用者さんの表情を笑顔に変えられない自分が歯がゆくも感じました。

同じ頃、いづみ寮へ入職したばかりの新任職員との面談の中で、「利用者さんに寄り添う支援」というフレーズをその職員から聞くことができました。少し詳しくその意味について問い合わせたところ、「利用者さんの『やりたい』『どう思いを…』と聞いかけ、言葉に詰まってしまい出した。職員となり3か月あまり。実践の中での価値観の揺りぎり、理想と現実とのギャップを感じながらも、自分の描く職員像を言葉にしようとしながらも、支援者として、まっすぐ利用者さんへ向き合っていきながらその言葉として受け止めました。

コロナ禍において多くの荘内・寮内行事が延期・中止となり、利用者さんと支援者が同じ時・同じ場面で感じる喜び・楽しみを共にする機会も限られていきました。しかし、この「共感」という経験こそ、支援者として寄り添うことへのスタートラインに立つことと答えます。「この行事はむずかしいけど、代わりにこれなりできるよ!」こんな時だからこそ、支援者が柔らかな発想で知恵を出し、嬉しい・おいしい・心地いい…といった楽しみや期待に満ちた場面を実践の現場に取り入れ、共に感じることができればよいと思いまよ。

私も、いつもの利用者さんからの問い合わせに「いづみ寮の前庭で一緒に踊りましょ~」と答えてみようと思いまよ。

共感からの始まり

寮長代理 杉原 良行

「夏まつり、盆踊り行く~」「たっしゃあ食べね~」毎日の暮らしで私の手をひいて話しかけてくれる利用者さん。4回には「一緒に行きましょ~」と答えていた私。5回には「あつたらいいですね」の6回には「あるかな~」。楽しみや期待感を言葉に込めお伝えすべしとも緊急事態宣言下では次第にその現実味は薄れていき、それでも日々、声をかけてくれる利用者さんの表情を笑顔に変えられない自分が歯がゆくも感じました。

同じ頃、いづみ寮へ入職したばかりの新任職員との面談の中で、「利用者さんに寄り添う支援」というフレーズをその職員から聞くことができました。少し詳しくその意味について問い合わせたところ、「利用者さんの『やりたい』『どう思いを…』と聞いかけ、言葉に詰まってしまい出した。職員となり3か月あまり。実践の中での価値観の揺りぎり、理想と現実とのギャップを感じながらも、自分の描く職員像を言葉にしようとしながらも、支援者として、まっすぐ利用者さんへ向き合っていきながらその言葉として受け止めました。

コロナ禍において多くの荘内・寮内行事が延期・中止となり、利用者さんと支援者が同じ時・同じ場面で感じる喜び・楽しみを共にする機会も限られていきました。しかし、この「共感」という経験こそ、支援者として寄り添うことへのスタートラインに立つことと答えます。「この行事はむずかしいけど、代わりにこれなりできるよ!」こんな時だからこそ、支援者が柔らかな発想で知恵を出し、嬉しい・おいしい・心地いい…といった楽しみや期待に満ちた場面を実践の現場に取り入れ、共に感じることができればよいと思いまよ。

私も、いつもの利用者さんからの問い合わせに「いづみ寮の前庭で一緒に踊りましょ~」と答えてみようと思いまよ。

家族の会から

会長挨拶



残暑お見舞い申し上げます。

岡山県では、新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言は解除され、ワクチン接種も着々と進んでいますが、変異株の感染拡大も懸念されており、家族の会としても引き続き感染防止対策を徹底する必要があります。

さて、家族の会の活動についてですが、コロナの影響とはござるものの2年間、役員会の開催やいづみ寮通信の発刊だけで、他は殆んど行われませんでした。今年度後半の事業については、旭川庄新型コロナ対策本部の対応方針を踏まえながら、可能な限り実施したいと考えております。

また、来年度は、役員の改選期となつておりますが、現在の役員は私を筆頭に高齢化が進み、このままでは会の運営が非常に厳しくなると思いま。この状態のため会員皆様の意見を聞く機会を設けますので皆様方も貴重に考えていただき、率直な意見をお聞かせ願えたらと思っております。

会員の皆様には、酷暑の中あります、ご健康にご留意の上お過ごしください。

令和3年度第1回役員会の開催



7月25日(日)いづみ寮2階地域交流ホールにおいて、家族の会から会長以下9人、いづみ寮から上原課長が出席して開催されました。

師井副会長の司会で、挨拶に続き、協議事項が審議されました。

国重満夫

1 会長挨拶

役員の皆さん、上原課長、お忙しいとのことで出席いただきありがとうございました。

さて、本日の役員会では、寮の方からのコロナ対策の現状と今後の対応をお聞かせいただき、その状況を踏まえて、今年度の家族の会の残る事業をどのようにすべきか、ご検討いただきたいと思っております。

また、来年度は、役員改選を控えており、役員の高齢化が進む中で家族の会の運営をどうにするべきか、真剣に協議していただきたいと想っております。どうかよろしくお願いいたします。

いづみ寮の運営や新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力に感謝します。

2 コロナ対策の現状と今後の方針

いづみ寮 上原課長

いづみ寮の運営や新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力に感謝します。

感染防止対策として、利用者への面会や外泊等について制限してきましたが、7月から徐々にその制限を緩和しております。会食等も徐々に行っております。

ワクチンの接種も進んでおり、65歳以上の利用者全員と職員の80%が2回接種済みであり、65歳未満の利用者には、8月から医療センターの担当者を派遣してもらい接種することになりました。ワクチン供給状況にもよりますが、田中には接種が完了したことになつてきました。引き続き、感染防止対策にご協力をお願いします。

3 8月以降の家族の会の主な行事の取り組み

協議結果

①ふれあいの日
「コロナ情勢を見ながら、秋以降1回は、ふれあいの部屋の掃除を兼ねて実施する。

②やまとひのひづくの出店等
いづみ寮の基本方針に則り、出店はしない。また、

協議結果

第一回の役員会では、事業を縮小する方向であつたが、会員の意見を聞く必要があり、アンケート調査を実施するなどして、11月14日(日)の役員会で、の調査結果を基として、「今後のよしむべきか」の案を作成し、総会へ諮る方向で作業を進めました。

午前11時50分閉会

(編集委員 師井、高瀬)

家族等も参加を控えめ。

③家族会等連絡協議会
主催者の方針に基づき検討する。

④親睦旅行
バス会社等への手配から、早期に判断する必要があり、今年度は中止する」とあります。

⑤家族会合同研修会
主催者の方針に基づき検討する。

⑥その他
「おかやま福祉互助会制度の今後については、育成会から発出された資料をよく読み、各人に対応を検討する」と。

4 令和4年度以降の家族の会の運営

高齢化が進むなかで、今までよりの運営は困難になるのは明らか。次の対策について協議しました。

①役員の若返りを図る。(兄弟等の参加者を推進する)
②若返りが無理な場合は事業計画の見直しを行つ。
ア いづみ寮通信の「家族の会から」を休止
イ ふれあいの日の内容及び日数の削減
ウ いづみ寮関係以外の行事への参加見直し
エ 家族の会会費の削減

③家族の会の形だけ残す

④家族の会の休止

いづみ栄誉賞

昨年度の頑張りや輝いていた人に贈る「いづみ栄誉賞」の表彰式が8月12日(水)に行われました。表彰式は「口十禍のため、秋山寮長より館内放送にて発表、表彰となりました。放送が始まるとき、各棟ごとに名前を呼ばれました。利用者さんは周りか

らお祝いされ、照れた表情も伺えました。「いづみ栄誉賞」には、毎日、紐を使った体操に取り組んださくら棟のみなさんが選ばれ、「家族の会会長賞」には、藤原月正さんと難波孝雄さんが選ばされました。(佐倉)

土曜開所



15日(土)にラベンダー棟、ポプラ棟にて職員による「ギター演奏」を行いました。昔懐かしいアーメソングや誰もが知っている水戸黄門の歌など、40分間に渡るギターでの生演奏を聴きました。

利用者さんの中には、事前に職員と一緒に作成した段ボールの太鼓を持参した方もおられ、曲に合わせて太鼓を叩いたり、知っている曲に口ずさんだりと楽しいひと時を過ごされました。(伊達)

寮内夏まつり



7月29日(木)寮内夏まつりが行われました。今年度も感染症の拡大のため旭川荘の夏まつりは中止となりました。いづみ寮の利用者さんは夕方より多目的ホールにて、祭りの音楽や花火の映像が流れたり、法被を着た職員がいたりと祭りの雰囲気のする中でタコ焼きやフランクフルト、アイスクリームなどを召し上がってから前庭にて花火を、歓声を上げながら鑑賞されました。(吉田)

医療課より

心の余裕がある人の特徴は?

- ①ストレスが溜まつていて、かづいていても神が弱っている状態だと周囲への配慮ができるなくなる
- ②視野が狭く、自分のことしか考えられない(心に余裕がないと自分のことだけで精いっぱい)
- ③人の成功や喜びを素直に祝福できない(相手の立場に立って物事を考えられないため、心の余裕を失うと周囲の人と気持ちを共有することができない)
- ④周囲と自分をすぐに出比較する(人間関係が社会がと余裕のなさの原因を自分ではなく他人に求めやすくなる)
- ⑤マイナス思考で何事もネガティブな方向に考えてしまう(自分が辛い状況にあるとネガティブな気持ちを持ちやすい)
- ⑥借金をしているなど、お金の余裕がない(将来に対しこの不安が余裕のなさを生み出す)

心の余裕がある人の特徴は?

- ①いつも冷静で、物事を客観的に判断できる(周囲を見渡せるだけの視野の広さ)
- ②自己肯定感が高く、自分に対して自信がある(自信があれば人と比べるのもなくなる)
- ③人の話にきちんと耳を傾け、助言されたらしつかりと聞き入れる(自分の意見を固持せず、必要に応じて態度や意見を変えられる柔軟性)
- ④ポジティブで常に前向きな姿勢でいる(仕事や恋愛を保ちつつ、さらに幸せにしてポジティブさをひらく意欲の高さ)
- ⑤物腰が柔らかく、誰に対しても謙虚な姿勢で接している(あわせや充実した気持ちを他人に分けられる余裕)
- ⑥言葉遣いが丁寧で話し方が落ち着いている(自分でなく他人のことを考えた行動や姿勢を保てる)

心の余裕がある人の特徴は、じつはなんといふなと思うことばかりですね。

私たち人と接することができる仕事をです。自分を磨くことができる専門職です。

心の余裕のある人は継続し、心の余裕を感じない人は、私は余裕がないと思つてはなく、私は余裕があるんだと思つてばかり始めてみませんか。(人見)

寮内お楽しみ会食



コロナ禍の中で外出もままならない日々が続いていますが、6月に各グループ・活動班で様々な会食が行われ、楽しいひと時を過ごされました。

クリエイト班では、今年度もそれぞれの題材に取り組むことを決意表明し、みんなでケーキを頂きました。「私は苺ショート」「僕はチョコレート」と希望の物を選び、食べることが出来ました。

ゴーリング班では、例年と一味違う会食を行おうということで、お誕生日会を企画しました。ケーキとジュースで4

6日に誕生日を迎える利用者さんをお祝いしました。「おめでとう」とお祝いされ、みなさん楽しんでいました。

その他には、カレーを作ったり、市販のスponジに「デコレーションをして「マイケーキ」を作つたりするグループ・活動班も見られました。これからも利用者さんの「希望を聞きながら、笑顔あふれる楽しい会食タイムを提供していきたいと思います。

(西崎・河内)



令和3年度 行事予定(9月~12月)

- 9月13日～10月8日 前期モニタリング
- 10月6日 いづみ寮運動会
- 11月上旬 やまびこまつり(寮内開催)
- 12月24日 クリスマス会
- 12月29日～1月3日 日中活動特別体制

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、行事等を中止、縮小する場合があります。
その都度お知らせいたしますのでご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

アゼからお世話になっています。初めての事が多く戸惑うこともありますが、一日でも早く業務に慣れることができるように日々努力していきたいと思います。ご指導の程よろしくお願いします。



生活支援員
尾崎祐太さん

よろしくお願ひします